小 6 （新中１）	受験 番号		氏 名	

入塾試験サンプル

小６(新中１)

国　語

時間の目安：約 25 分

[　注　意　]

１．この「入塾試験サンプル」の問題数は，実際の入塾試験の問題を減らしたサンプル版となっています。
２．実際の入塾試験では，問題によってはやや難易度が高い問題が出題される場合もあります。
３．実際の入塾試験では，問題冊子と解答用紙は別々に分かれていますので，本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

誉田進学塾
Method for Essential Capability & Creativity
誉田進学塾 ism
Method for Essential Capability & Creativity

1 次のそれぞれの文の――線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

① 人を疑うのはよくない。

② 通行のじゃまになっているものを除く。

③ 明日は、時間厳守で学校に集合しなさい。

④ 敵の策略に引っかかる。

⑤ 手紙をトドける。

⑥ そのような例は、マイキョにいとまがない。

⑦ 親コウコウをする。

⑧ このチイキには公園が多い。

---

2 次の①～③の――線部のことばと同じ意味や用法をもつものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① こたつの中でねこが丸くなっている。

ア とても寒かったが、出かけた。

イ あの犬と遊んでいる男性が、ぼくの兄です。

ウ かれも君のように速く走れるのだが。

エ やっぱり我が家は落ち着くなあ。

② 雪の降る日を楽しみにしている。

ア となり町に、兄の住んでいる家がある。

イ 雨の中を、かけ足で家に帰った。

ウ そのケーキは、だれが買ってきたの。

エ その赤いのが、私のマフラーです。

③ 毎朝七時に起きる。

ア あまりの寒さにふるえた。

イ 友だちと魚つりに行く。

ウ 夜空にまたたくオリオン座。

エ 勉強の合間にマンガを読む。

3 **次のそれぞれの短歌を読み、あとの問いに答えなさい。**

A　石崖に子ども七人腰かけて河豚を釣り居り夕焼け小焼け
　　北原白秋

B　今日までに私がついた嘘なんてどうでもいいよというような海
　　俵万智

C　入日入日まつ赤な入日何か言へ一言言ひて※落ちもゆけかし
　　今井邦子

※落ちもゆけかし…落ちてゆけ。

問一　A～Cの短歌から、次の表現上の工夫が用いられているものをすべて選び、それぞれ記号で答えなさい。

①　短歌の最後がものの名前を表すことば(名詞)で終わっている。

②　短歌の決められた形式より音数が多くなっている。

問二　A～Cの短歌から、次の鑑賞文にもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

〈童謡のようなことばを用いて、情景を影絵のように表現している一首である。〉

---

4 **次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

現在、世界には約七十五億人の人間がおり、その数は年々増加しています。一年で七千万人の人が産まれ、一分間に約一三〇人もの人間が産まれているという計算になります。今から三十年後の二〇五〇年には、世界人口は約九十七億人になると言われています。

日本にも、約一億二七〇〇万人の人が暮らしています。近年日本では、少子化が叫ばれていますが、一九〇の国があると言われている世界の中でも、日本は十一番目に人口の多い国です。これだけ多くの人が暮らしているのですから、様々な性格の人がいるのも当然です。

みなさんの周りには、苦手な人や嫌いな人はいるでしょうか。おそらく、一人くらいは思い浮かぶ人がいるかと思います。苦手や嫌いというほどではなくても、「この人とは合わないな」「友達になれないタイプかも」というように接することに抵抗を感じる人がいるかもしれません。

①そのような人と会ったとき、みなさんはいつもどのような態

度をとっていますか。話さないようにしたり、関わらないようにしたりして、なんとかやり過ごそうとしている人もいることでしょう。自分がその人と関わることで、気持ちが暗くなるようならば、距離をおいたほうが良いと言えます。自分が辛いのに我慢して、その人と仲良くなろうとする必要はなく、自分が一緒にいて気持ちが楽な人と同じ時間を過ごすことで、自分の心を守るのは大切なことです。

①一方で、それは決して、相手に嫌な思いをさせて良いということではありません。もし互いに気の合わないタイプだと感じていたとしても、相手を傷つけたり不快な気持ちにしたりして良いという理由にはなりません。自分がされて嫌なことは、相手がどんな人であってもしてはいけないのです。

「②情けは人のためならず」という言葉があります。しばしば「情けは相手のためにならないからやめましょう」という意味で誤解されがちですが、それは違います。「人に対して情けをかけると、巡り巡って自分に良い報いが返ってくる」というのが本来の正しい意味です。②、相手のためを思ってしたことは、自分にとっても良いものとなって返ってくる、ということなのです。

③、あなたの友達が消しゴムを忘れて困っていた時に、自分の消しゴムを貸してあげたとします。④、自分も何かが無くて困っている時に、誰かが助けてくれることがあるのです。もしかしたらそれは、必ずしも自分が消しゴムを貸した友達ではなくまったく別の誰かかもしれない、という意味合いが含まれているのが、この言葉の面白いところです。自分が誰かを助けた状況と同じ、あるいは似た状況に自分がおちいったときに、助け舟が現れるというのです。

「嫌いだから」「苦手だから」という理由で、人に対して嫌な思いをさせてはならないと私が考えるのは、巡り巡って自分も同じ目に合うかもしれないということを伝えたいからなのです。「自分だったらどう思うか、相手の立場に立って考えることが大切だ」と言われたことがある人もいるでしょう。これは、たとえ自分が嫌いに思う人に対してであっても同じなのです。自分が相手を③ないがしろにした分、いつか自分も誰かにないがしろにされてしまうかもしれません。

人間は多種多様です。気の合う人がいる一方で、気が合わない人も数多くいます。できれば関わりたくないと思うような、

※を覚える人もいるはずです。それは生きていく上で、避(さ)けることはできませんし、無くすこともできません。しかし、関わり方を工夫するだけで、まったく違った世界が見えてきます。

人間は誰しも良い面、悪い面のどちらも持っています。人は④万人(ばんにん)に好かれることはありません。必ず誰かしら嫌いな人や苦手な人がいます。しかし、そう思っていた人と関わっていくうちに、良い面があると知ることがあります。そしてそこにひかれて、仲良くなるということも現実にはあるのです。それは、⑤誰かから見た自分も同じなのです。

人の数だけ、いろいろな人がいます。七十五億人という数字を見れば、それは明らかです。自分たちもその中の一人なのですから、違って当たり前です。むしろ誰であろうと良いところと悪いところもあるのだと分かっていれば、それだけで「お互(たが)いさまですね」と笑いあえるように思います。

問一 ①〜④に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号で答えなさい。

ア しかし　**イ** すると

ウ たとえば　**エ** つまり

問二 ――線①「そのような人」とありますが、「そのような」が指す内容を、「～人。」に続くように、**二十五字以内**（「、」や「。」も字数に数えます）で書いて答えなさい。

問三　――線②「情けは人のためならず」とありますが、ここで使われている意味にあたる行動として**ふさわしくないもの**を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　道で足を骨折（こっせつ）した人を支えてあげた。後日、自分が転んだ時に知らない人が声をかけてくれた。

イ　弟が分からないと言っていた問題を教えてあげた。すると、テストで似た問題が出て、答えることができた。

ウ　祖母が、体が痛いと言っていたので、肩（かた）たたきをした。すると、祖母がおこづかいをくれた。

エ　友達が木登りするのを支えたら、自分が登るときに上から手をつかんで、引っ張り上げてくれた。

問四　――線③「ないがしろ」、④「万人（ばんにん）」の意味として最もふさわしいものをそれぞれのあとから選び、記号で答えなさい。

③「ないがしろ」

ア　無視（むし）すること　　**イ**　大切に思わないこと

ウ　ひどく嫌（きら）うこと　　**エ**　感謝しないこと

④「万人」

ア　すべての人　　**イ**　一万人

ウ　知らない人　　**エ**　自分の周りにいる人

問五　※　に入る内容として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　絶望感　　**イ**　違和感（いわかん）

ウ　嫌悪感（けんおかん）　　**エ**　孤独感（こどくかん）

問六　――線⑥「誰かから見た自分も同じなのです」とありますが、何が自分も同じなのですか。それを説明した次の文の□に入るふさわしいことばを、**二十五字以内**（「、」や「。」も字数に数えます）で書いて答えなさい。

〈自分を　□　打ち解けること〉

問七　本文の内容に合っているものを次から**一つ**えらび、**記号**で答えなさい。

ア　人には良い面、悪い面があると知ることで、さまざまな人がいることを受け入れることができる。

イ　自分が相手のために良いことをすると、必ずその人から恩返(おんがえ)しされるので、積極的にしていくべきだ。

ウ　人は必ず嫌われるのだから、自分にとって嫌だと感じる人とは、一切付き合わなくて良い。

エ　嫌なことをした人は、同じ目に合って辛さを知るべきなので、同じことをし返すべきだ。

（これで問題は終わりです。）

解答

1

① うたが　② のぞ　③ げんしゅ　④ さくりゃく
⑤ 届　⑥ 枚挙　⑦ 孝行　⑧ 地域

2

① **イ**　② **ア**　③ **エ**

《解説》

① 例文と**イ**は、「～がどうする・どんなだ・何だ」という述語に続いて、主語を表すはたらきがあります。**ア**は、「とても寒かった。しかし、出かけた。」のように、反対の内容を表す二つのことがらを結びつけており、「しかし」「でも」「だが」などの接続語と同じようなはたらきをしています。**ウ**は、「今は調子が悪い」などの文章が続くはずが省略されています。はたらきとしては**ア**とおなじ反対の内容を結びつけています。**エ**は、「我(わ)が」という一単語の一部です。

② 例文と**ア**は、主語を表す「が」と同じはたらきがあります。**イ**は、上の語が下の語を説明するはたらきをしていることを表します。**ウ**は、文の終わりについて、質問する気持ちを表しています。**エ**は、名詞と同じようなはたらきで、「もの」と言いかえることができます。

③ 例文と**エ**は、時間を指定するはたらきがあります。**ア**は、動作・作用の起こる原因やきっかけを表します。**イ**は、目標を指定するはたらきがあります。**ウ**は、場所を指定するはたらきがあります。

3

問一　① **A・B**　② **B・C**

《解説》

① 短歌の最後がものの名前を表すことば(名詞)で終わる表現技法を、体言止めといいます。**A**は「夕焼け小焼(こや)け」、**B**は「海」と、名詞で終わっていることを確認しましょう。

② 短歌には、五・七・五・七・七、三十一音という決まった形式があります。この形より音数が少ないものを「字足らず」、多いものを「字余り」といいます。**B**は五・七・五・八・七、**C**は六・七・五・七・七と、それぞれ三十一音より多くなっているので、どちらも字余りになります。

問二　**A**

《解説》 **A**では、河豚(ふぐ)を釣(つ)って遊んでいる子どもたちの様子がよまれています。「夕焼け小焼け」といった、童謡(どうよう)に出てくるようなことばを用いることで、子どもの世界を印象的にえがいています。石崖(いしがけ)に座っている子どもたちの姿が、夕焼け小焼けの真っ赤な夕空にうかび上がり、まるで影絵(かげえ)のような情景となっている短歌です。

4

問一　①　ア　　②　エ　　③　ウ　　④　イ

《解説》接続語の問題です。接続語とは、文と文をつなぐことばのことです。ですから、解くときには必ず前の文と後ろの文を一度読んで確認をしましょう。そのうえで、文同士がどのような関係になっているのか考えましょう。

問二　苦手や嫌いに思う人や接することに抵抗を感じる
（苦手や嫌いに思ったり接することに抵抗を感じたりする）

《解説》指示語の問題です。指示語の内容を探す前に、まずは指示語の直後を確認しましょう。直後に「そのような**人と会ったとき、みなさんはいつもどのような態度をとっていますか**」とあります。指示語が指しているものが「人」だという点を踏まえて前の文を読みに行くと答えが見つかります。

問三　ウ

《解説》選択問題は、選択肢を見る前にある程度、答えを考えてから選びましょう。選択肢の内容に惑わされて正しい答えが選べないことがあります。この問題では、「情けは人のためならず」の本来の意味が大きなヒントです。本文中に必ずヒントがあると信じて読みましょう。

問四　③　イ　　④　ア

《解説》語句の意味を答える問題です。知らない言葉が出てきても、あきらめることはありません。前後の文を読み返し、意味を推測しましょう。文脈から推理することが大切です。

問五　ウ

《解説》穴埋め問題です。まず、抜けている文を読み、空欄の前後をチェックしましょう。前後の文は大きなヒントになります。答えを推測してから、選択肢を確認しましょう。

問六　嫌っている人と接することで、良い面を知ってもらい

《解説》問五の穴埋め問題と見るべきポイントは同じです。空欄の前後に注目すると、何を答えるべきか分かります。傍線部を含む一文、さらにその文が含まれている段落を、もう一度読み返しましょう。記述は正しい答えを書こうと

するのではなく、部分点をとるつもりで書くことが大切です。書くべきキーワードを本文中から見つけ、空欄に合うようにまとめましょう。

問七　ア

《解説》当てはまりそうな答えがあったとしても、しっかりと全ての選択肢を読み返しましょう。なんとなくよさそうな解答であっても、一部分が本文の内容とちがうことがあります。本文から読み取れない内容の選択肢を選んではいけません。迷った時は、必ずもう一度本文にもどって、読み返すことが大切です。本文から読み取れないものは外して、より正答だと思える選択肢を選びましょう。

